（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	みらいさぽーとmoana2

公表日 令和８年　４月　１０日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		・児童の特性に合った視覚支援（絵カード）を作成し、活用している。 ・ニーズに合わせて忘れ物の対応（チェックシートやファイルなど）を作成し活用。	・教具教材の適切性を踏まえ、教材に関する知識向上を図るとともに、児童の実態に応じた教材の充実を進めていきたい。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・訪問支援員同士で連携を取りながら補う事はできている。 ・人員が少ない為、キャパを超えないように調整し支援の質を下げないように工夫している。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・訪問支援員同士で相談や連携が取れている。 ・学校側担任に協力を得ながら参画している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・児童の困り感や保護者の意向を踏まえ業務改善につなげている。 ・モニタリング会議や個別支援計画書更新の際に、保護者の困り感やニーズの聞き取りを行い、担任と情報共有することで支援内容を統一している。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	3		・訪問員が一人で抱えむことがないように、相談や会議が持てる環境にある。 ・困りごとが生じた際には速やかに管理者へ相談できる体制であることと、月１回の管理者会議において意見を共有し業務改善に繋げている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		・現段階では機会が作れておらず、自己評価アンケートのみの対応になっている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・資質の向上を図るために研修に自由に受講できる環境にある。 ・保育所等訪問連絡会や研修を受講している。今年度は「学校作業療法士の最前線」について研修済み。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		・訪問支援を通して、実態把握や家族からの聞き取りで意向に沿った計画の作成を行っている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	3		・関係者から情報を聞き取り、共通理解の下で支援を実施している。 ・個別支援計画書の作成に当たっては、担任と連携し共通理解の下で検討を行っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・担任の先生の支援方法や学校の理念を尊重する姿勢で必要な支援を行う。 ・個別支援計画書の作成に当たっては、担任と連携し共通理解の下で検討を行っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	3		・計画に沿った支援を行えている。だが、ケースによっては担任の先生との支援のずれが生じてしまう事もある。	・計画作成の段階から、学校側とすり合わせを行う事で、ずれを生じさせないように工夫が必要。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・職員が評価しやすいアセスメントシートに、内容を見直しながら作成している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・児童、家族、担任に対する具体的な支援を計画し、適切な行動習慣に導いている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・計画に沿った支援を行えている。だが、ケースによっては担任の先生との支援のずれが生じてしまう事もある。	・計画作成の段階から、学校側とすり合わせを行う事で、ずれを生じさせないように工夫が必要。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・相談したいことがあれば事前に相談できる環境にある。担任とは、事前の打ち合わせや振り返りを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・職員間での内容報告や担任との振り返りを行っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・訪問先の理念を尊重しながら相談しやすいような関係性を育むことを心掛けている。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		・支援の内容や児童の様子、担任への助言等具体的に記録している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・客観的な評価を行い、見通しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・日々の変化や成長、課題、サービスの必要性等を情報伝達できている。 ・担当職員又は児童発達管理者が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・複雑な家庭環境にある児童の場合にすぐに連携がとれる体制にある。 ・必要に応じて、行政機関と連携して支援を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・必要に応じて実施している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		・自由に研修への受講が出来る環境にある。 ・連絡会などに出席し、情報を共有し支援の質を向上出来る様にしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3		・いつ開催されているか不明。今のところ声がかからないので、今後はこちら側からもアプローチしていきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・送迎での申し送りや通信機器を活用し、保護者の状態に応じてのツールで相談援助している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	・必要に応じて、研修での資料や事業所で活用している教材等を情報提供している。	・今後は研修の機会や情報提供等を行えるよう努めていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・丁寧な応対を心掛けている。 ・契約時に説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・時間に限りがある中で、必ずすり合わせ等は行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	3		・面談や会議の機会を設けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		・専門用語や難しい言葉は控え、わかりやすい計画書と説明になるように心掛けている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		・トラブルや問題が起きる前に、なるべく速やかに丁寧な対応をするよう心掛けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		・事業所で交流会の機会を設け、保護者同士で相談し合える環境である。	・保護者会（ゆんたく会）などの機会を検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・丁寧な聞き取りを心掛けている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		・日々の記録を通信機器を活用して伝達している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・新規契約の際に情報同意書をもらって、個人情報の取扱いに十分留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・相談しやすいような関係性を意識しながら育んでいる。	
訪問先施	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		・信頼関係を築きながら、必要な助言や支援を丁寧に伝える。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		・支援内容を共有しながら、相互理解に努めている。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		・送迎での申し送りや通信機器を活用した記録公開等に寄って情報を共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・訪問時に知りえた情報（担当児童以外）については一切口外せずに、氏名なども記録に残すような事がないように注意を払っている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		・相談しやすいような関係性を築けるように接し、丁寧な応対で助言することを心掛けている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	・どのような現場であっても緊急時を想定したリスクマネジメントを意識しながら支援を行っている。	・すべての訪問先でマニュアル等を把握することは現実的ではないが、非常口の場所など、目につくものは把握するように努める。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・リスクマネジメントを意識しながら、活動の場面場面に応じた注意喚起を促している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・職員間でも情報を共有して注意喚起を行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・事業所での研修を基に、同様のケースがあった場合に備えて注意を払いながら支援を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		・定期的に支援方法を振り返り、見直しを行っている。必要に応じて記載も行う。	